令和７年度決算の概要　焼津市の財政状況

市の令和７年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算がまとまり、市議会９月定例会で認定されましたので、その概要をお知らせします。（表示単位未満は四捨五入のため、合計数値などが合わない場合があります）。

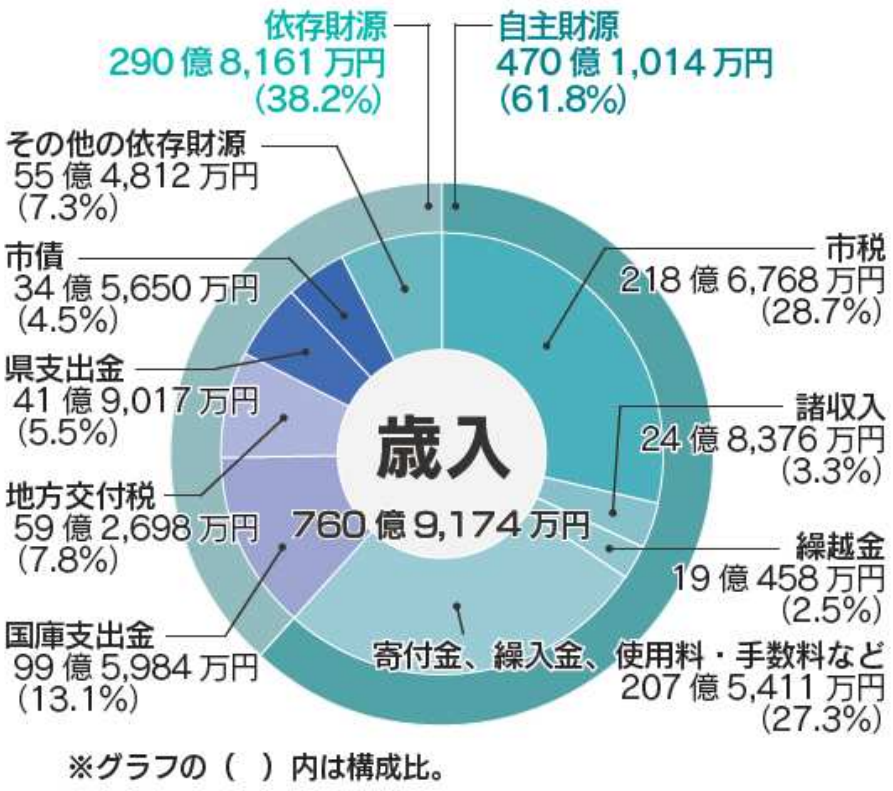
一般会計

市の基本となる会計です。「特別会計」と「企業会計」以外の全ての行政サービスや事業を扱います。

※３月 31 日現在の住民基本台帳の人口（13 万 3,542 人）と世帯数（６万 1,223 世帯）で計算しました。

歳　入　760 億 9,174 万円　対前年度比 42 億 685 万円の増（＋5.9%）

※市税の負担額　市民１人当たり…16 万 3,751 円　１世帯当たり…35 万 7,180 円



※グラフの（　）内は構成比。

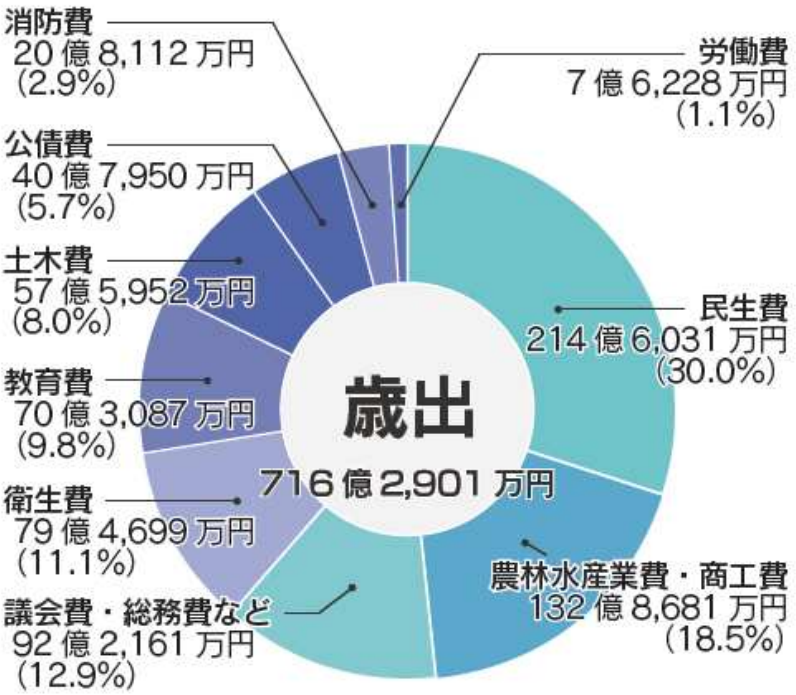
自主財源は、寄付金４億 7,832 万円の減（▲4.0%　/　ふるさと寄付金の減など）があったものの、市税９億 7,940 万円の増（＋4.7%　/　市民税や固定資産税の増など）などにより、全体で増加となりました。

依存財源は、国庫支出金３億 7,824 万円の増（＋3.9%　/　児童手当負担金の増など）、県支出金５億 4,715 万円の増（＋15.0%　/　子ども・子育て支援給付費負担金の増など）、市債５億 2,687 万円の増（＋18.0%　/　小学校体育館への空調設備整備事業の増など）などにより、全体で増加となりました。

＊市税…市に納められた税金　＊諸収入…貸付金の元利収入など　＊繰越金…前年度から繰り越されたお金　＊国庫支出金…市が行う特定の事業に対して国が支出するお金　＊地方交付税…市の財政状況に応じて国から交付されるお金　＊県支出金…市が行う特定の事業に対して県が支出するお金　＊市債…国や銀行からの借り入れ　＊その他の依存財源…地方譲与税や地方特例交付金、地方消費税交付金など

歳　出　716 億 2,901 万円　対前年度比 31 億 9,871 万円の増（＋4.7%）

※市民１人当たりに支出したお金…53 万 6,378 円



民生費は 16 億 5,124 万円の増（＋8.3% / 児童手当支給事業費の増など）、商工費は５億 8,656 万円の減（▲4.5% / 温泉事業特別会計繰出金の減など）、総務費は４億 3,358 万円の増（＋5.1% / システム維持管理費の増など）、衛生費は５億 4,364 万円の増（＋7.3% / 病院事業会計繰出金の増など）、教育費は５億 3,045 万円の増（＋8.2% / 小学校体育館への空調設備整備事業の増など）となりました。

収　支　形式収支　44 億 6,273 万円 / 実質収支　36 億 3,761 万円

※形式収支は、歳入から歳出を差し引いた額です。

（760 億 9,174 万円－716 億 2,901 万円＝44 億 6,273 万円）

※実質収支は、形式収支から繰越財源（翌年度へ繰り越す事業の財源）を差し引いた金額です。

（44 億 6,273 万円－８億 2,512 万円＝36 億 3,761 万円）

ふるさと寄付金の活用

いただいたふるさと寄付金のうち、経費を除いた金額（約半額）を「ふるさと寄付金基金」として積み立てており、令和７年度は次の事業に合計 57 億 8,496 万円を活用しました。

子育て支援・子どもの学習環境の整備 など



22 億 7,183 万円

- 子ども医療費助成
- 小・中学級支援員配置事業 など

観光・交流事業 など



15 億 1,018 万円

- 豊田地域交流センター整備事業
- 新焼津体育館建設事業 など

健康増進・医療機器の整備 など



13 億 8,798 万円

- スマイルライフ推進センター整備事業
- 健幸（けんこう）・デジ活推進事業 など

治水・防災・市民の安心安全 など



6 億 1,497 万円

- 流域治水プロジェクト事業
- 港湾事業（胸壁整備）など

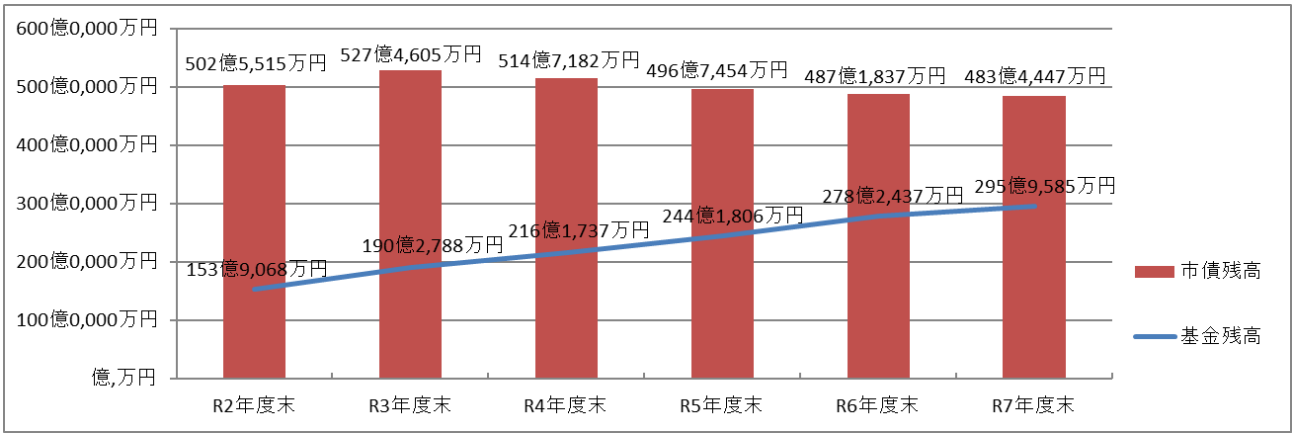
市債（長期借入金）と基金（預貯金）

一般会計の市債残高　483億4,447万円　対前年度比３億7,390万円の減（▲0.77%）

※市民１人当たりの市債残高…36万2,017円、市民１人当たりの基金残高…22万1,622円

市債（市の借金）残高は、令和３年度末の約527億円をピークに年々減少しており、令和６年度から３億7,390万円減少しました。

基金（市の預貯金）は、各年度の財源を調整するための財政調整基金や将来の大きな支出に備えて積み立てる特定目的基金などがあり、令和６年度から17億7,148万円増加しました。



特別会計

特定の目的のためだけにお金を集めて使うので、一般会計と区分して経理する会計です。

市には８つの特別会計があります。

【表】特別会計の決算額

会計	歳入	歳出	差し引き	市債残高
し尿処理事業	6億6,600万円	5億6,522万円	1億78万円	0円
土地取得事業	1,884万円	1,884万円	0万円	0円
国民健康保険事業	121億6,359万円	118億6,738万円	2億9,622万円	0円
温泉事業	9,745万円	9,645万円	100万円	0円
駐車場事業	1,718万円	1,520万円	198万円	0円
介護保険事業	136億7,153万円	132億3,859万円	4億3,294万円	0円
後期高齢者医療事業	25億2,357万円	24億4,037万円	8,320万円	0円
港湾事業	7億5,128万円	7億376万円	4,752万円	18億6,244万円

企業会計

民間企業と同様に事業を経営する独立採算が原則の会計です。

市には３つの企業会計があります。

【表】企業会計の決算額

会計	収益	費用	差し引き	企業債残高	一般会計からの繰入金
水道事業	23億4,262万円	20億4,357万円	2億9,904万円	72億2,942万円	1億6,219万円
病院事業	147億3,791万円	156億2,584万円	▲8億8,793万円	31億6,795万円	21億7,790万円
公共下水道事業	19億3,844万円	19億4,476万円	▲633万円	85億533万円	11億4,932万円